

# お、さぎ



題字＝上野直蔵元総長  
 発行所  
 同志社大学野球部OB会  
 〒610-0321  
 京田辺市多々羅都谷 1-3  
 同志社大学野球部合宿所内  
 TEL&FAX (0774) 65-7977  
 発行者  
 同志社大学野球部OB会  
 会長 片岡篤史  
 広報委員会

## 副会長 挨拶



同志社大学野球部OB会副会長

宮本慎也 (H5)

このたび、同志社大学野球部OB会副会長という大役を拝命いたしました、H5年卒の宮本慎也でございます。

まずは、このような重責ある役職をお任せいただきまして誠にありがとうございます。同志社大学硬式野球部

で過ごした日々は、私の野球人生の礎でもあり、かけがえない時間でした。グラウンドでの厳しさ、仲間との絆、そして勝利への執念。そのすべてが、今の自分を形作っていると感じております。

同志社大学硬式野球部のさらなる発展に貢献していく所存です。また、OBの皆様同士のつながりをより一層強固なものとし、世代を超えた交流の場を広げていけるよう、微力ながら尽力してまいります。

今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。同志社大学硬式野球部OB会副会長 宮本慎也

## 監督 挨拶



竹川智之 (H7)

同志社大学野球部OB会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さらには、平素より本学硬式野球部の活動に対し、格別のご支援とご高配を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

また、私自身が監督を拝命し2年目のシーズンを迎えました。本年度は、「野球の勝利と人間的成長の両立」を軸に据え、同志

社らしい品格と主体性を備えたチームづくりを、より一層徹底してまいります。勝利を追い求めることは当然の責務であり、その過程において信頼される人間を育てること、そして「同志社らしさ」を体現する集団であり続けることに、強い責任を持って取り組んでまいります。

また、早稲田大学との定期戦では、自分たちの甘さと現在地をはっきりと突きつけられる結果となりました。この現実から目を逸らすことなく、足りないものは何かを明確にし、徹底してやり直し上げます。

片岡OB会長をはじめOBの皆様からの大きな期待に応えるべく、学生としての節度と品格を大切にしながらも、勝負の場では最後まで戦い抜く集団として、結果でお応えできるよう取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

同志社大学硬式野球部の強化に取り組んでおります。

このチームは、昨年度主力を担った4回生の多くが卒業し、新たな体制

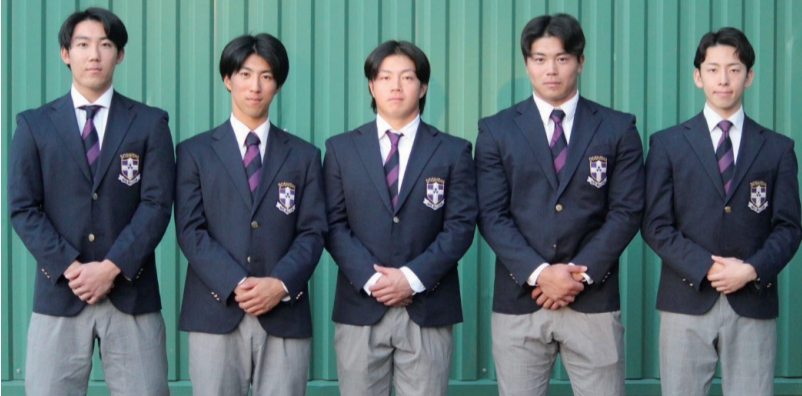
## 現役幹部のご挨拶

- 主将 山岸廉尊
- 主務 山口広陽

いつも同志社大学硬式野球部を応援していただき誠にありがとうございます。

昨年は春秋ともにリーグ優勝を逃し、非常に厳しい現実を突きつけられました。今年は「革新的な取り組み」を掲げ、14年間優勝のない同志社大学硬式野球部の歴史を変え、新たな時代を切り開いていく思いで日々練習に取り組みしております。

昨年からは、選手一人ひとりが主体的に考え行動する組織へと進化を図り、「日本一」を目標に邁進しております。



主務 山口広陽 (スポーツ健康科学部 京都成章高校)  
 副主務 佐藤悠斗 (法学部 仙台育英高校)  
 主将 山岸廉尊 (法学部 静岡高校)  
 副主将 牧原優太 (商学部 東山高校)  
 副主将 野邊慧哉 (政策学部 津西高校)

日頃から支えてくださる多くの方々の為にも、今年もリーグ優勝を果たし神宮の舞台で躍動し、強い同志社の姿を見せるべくチーム全員で精進してまいりますので、ご声援のほどよろしくお願いたします。

昨年に引き続き、2月には春季キャンプを徳島県海陽町にて実施いたしました。さらに3月には関東へ赴き、早稲田大学安部磯雄記念球場にて早稲田大学との定期戦を行いました。試合では敗戦を喫したものの、自分たちの課題を明確にし、勝利に向けて何を為すべきかを再認識する貴重な機会となりました。これを

契機に、チーム全体としてより高い基準で練習に取り組む姿勢が浸透してまいりました。皆様のご支援のもと、春季リーグ戦を迎えることができました。優勝への道のりは決して平坦ではありませんが、最後の最後まで諦めることなく、全力で戦い抜いてまいります。

## 『創部135周年の集い』開催のご案内

2026年同志社野球部は創部135周年を迎えることとなりました。

今日までの間、明治大正・昭和・平成、そして令和と時代は流れ、幾多の混乱を切り抜けて諸先輩方は野球に情熱を注いでこられました。

この度、先輩諸兄の功績に感謝と敬意を表するとともに、連綿と受け継がれた「同志社スピリッツ」のもと「Reunion」再会をテーマに一堂に会することにより、

年末のお忙しい中とは存じますが、旧友(球友)たちとの楽しい時間をお過ごしいただくため万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

詳細確定次第、あらためてご案内をさせていただきます。

日時：2026年12月19日(土曜日) 午後1時 開宴  
 場所：ホテルグランヴィア京都 (丁JR京都駅直結)  
 会費：15,000円(予定)



参加用QRです

## OB会費納入のお願い

<年会費：10,000円>

OB会では、OB会規約第二十一条に基づき、OB・OGの皆さまにOB会費の納入をお願いしております。皆さまから納入いただいたOB会費を元にOB会活動、現役支援活動(近年、チームバット購入など支援の幅を増やしております)を行っており、会費は大切に、且つ有意義に活用させていただいております。

\*なお、OB会規約では「学齢で80歳以上のOBの年会費を免除できる」というようになっております。昭和43年卒以前のOBの皆さまは年会費が免除になります。

- ・クレジットカードによる決済
- ・銀行振込

### 【振込先】

三井住友銀行 京都支店 普通 5529979 同志社大学野球部OB会

\*卒業年度を、名前の前に加えて頂きますと幸いです。(例：H11ドウシシャタロウ)



クレジットカード決済

## OB会LINEグループへご参加下さい

ホームページへの案内も行いますが、より簡単にアクセスできます。また、発信内容に制限を設けておりませんので交流の場としてご活用できれば幸いです。



参加用QRです

# 早稲田定期戦

細見和史(H8)

同志社大学と早稲田大学による伝統の定期戦が、3月23日、東京都東伏見の早稲田大学・安部磯雄記念野球場にて開催されました。

春の冷気が残る中、両校の選手たちは引き締まった表情でグラウンドに立ち、長い歴史を背負う一戦に臨みました。スタンドには多くの同志社

試合は、竹川監督のもとで新たな体制をスタートさせた同志社でしたが、序盤より早稲田大学に主導権を握られ、徐々に点差を広げられる展開となりました。中盤に1点を返したものの反撃は及ばず、惜しくも勝利には届きませんでした。

しかし、終始声を掛け合いながら全力でプレーする現役選手の姿からは、伝統の一戦に臨む姿勢が伝わりました。

試合後は、早稲田稲門会、同志社東京校友会、関東スポーツユニオンの皆さまが参加する校友交流会が開催されました。



OB会費から、現役への支援として2025年度はグラウンドレーキ(木製とんぼ)・キャッチャー道具(練習用2セット)を、寄贈させていただきました。

## 現役支援



## シニア会を開催しました

2025年11月22日、ホテル京阪 京都グランデに於いて、シニア会をはじめ開催させていただきました。

OB会規約第16条にありながら、長く開催ができていませんでした。片岡会長の思い入れもあって、開催をさせていただきますました。

今年、135周年の集いでシニアの皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

\*ご参加頂いた

シニアの方々

- 美馬(S31)・漆崎(S33)・村山(S39)・秋山(S40)・相澤(S41)・丸尾(S42)・清水(S42)・大村(S44)・山本(S44)・後藤(S49)・石塚(S53)

敬称略



勢と、同志社野球の精神を受け継ごうとする強い意志が感じられ、OBにとっても意義深い試合となりました。

今回の定期戦および交流会は、伝統の継承と校友間の連携強化を実感する一日となりました。

今後も現役の活動を支援しつつ、両校の友好関係のさらなる発展に寄与していきたいと考えております。

## ~ 審判員を募集しています ~

リーグ戦では、各校のOB達が審判を務めています。審判がいないと試合ができません！



審判の面白さは「現役選手と同じフィールドで試合に関われる事と、無事終えた充実感です」

応募は、「審判員希望」と記載し、OB会ラインに連絡をお願いします。

## 児玉さんを偲ぶ会

福田幸司(H1) した。

2月21日、児玉正之OB(昭和45卒)を偲ぶ会が東京サテライトキャンパスにて執り行われました。

校友会はじめ野球部OBや会社後輩、長年の友人が集まり、児玉OBが歩んだ人生と野球への情熱を分かち合いました。会場には、校友会活動や早稲田との交流戦等の写真が流れ、在りし日の熱気まで伝わってまいりました。

合掌



交流会(OB・ユニオン・校友会の皆さま)



偲ぶ会に参加したOBの皆さま